



秦野市・パサデナ市姉妹都市提携 60 周年記念事業開催

2024年6月18日(火)~29日(土)

60年の交流に新たな1ページを刻む

秦野市とパサデナ市(米)との間で姉妹都市提携が結ばれ、今年で60年を迎えました。これを記念し、6月下旬、パサデナ市民訪問団4名と青少年演奏団20名が秦野市を訪れました。記念演奏会、市長表敬訪問、着付け体験、ホームステイなどを通して多くの市民と交流を深めることができました。その時の様子を参加者の皆様の声と共にお伝えします。



市民訪問団、演奏団、勢揃いのショット! 扇で敷る桜を表現し日本舞踊を初体験!

友情を育て更に前進する両市の親善 (会長)六本木康



スタスさんと共に

秦野市とパサデナ市との姉妹都市提携(1964年)から60年が過ぎ、今では両市の交流が大きく前進し続けています。市民同士の交流をはじめ、青少年交流も活発に大きく動き出しています。今年は、1月には秦野市青少年訪問団及び教職員海外派遣研修訪問団9名がパサデナ市へ。また、6月にはパサデナ市から市民訪問団4名、青少年演奏団20名が来秦し、大いに盛り上がりました。特に、姉妹都市提携60周年を記念したクアーズテック秦野カルチャーホールでの演奏会には、大ホールがほぼ満席になるくらい市民の皆様が参加してくださいました。スタスさんと琴・和太鼓・マリンバ・タップダンスなどとの共演、青少年演奏団によるアコーディオン演奏は、観覧の皆様に残る感動が会場中に沸き立っていました。

約2週間、各種団体や市民の皆様方にご協力いただきました。皆様の「もてなし」を訪問者全員が心に深く刻み、また、事業に参加された全ての方々とは幸せな時間を共有できました。

これからの交流が、多様性を認め合う交流へと繋がっていくよう、願っています。

(大津道雄)